
スマッシュ(?)ブラザーズW

戯言遣いの弟子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマッシュ（？）ブラザーズ

【Zコード】

N2467K

【作者名】

戯言遣いの弟子

【あらすじ】

スマッシュブラザーズの皆で遊ぼう！
息抜き程度に詠んで下さい。

前一回戦

「皆～！」

「どうしたのさ、兄ちゃん」「
ぱよ～？」

「何だ？」

「どうかしました？」「
我輩に何か用か？」

「俺に何か用か？」

以下略

「皆で遊ばない？」

「…は？」

「はい！鬼ごっこがいい！」「
かくれんぼ！」

「読書」

「遊びじゃねえし」

「ゲームなんてどうだ？」「あ、マスター」

「そんな幼稚な遊びは」

「知っているか？ゲームは知識の象徴だぞ」

「やるぞ！」

「早いな。ああ、そうそう。今のは嘘だ。」

「おじ貴様」

「おら」

「つう！」

「これでいいか？」

「悪いな弟」「
…殴るなよ」

「そり

「? 何だこれ… つて、『大乱闘X』じゃん(汗)」

「全クリしておいた」

「おう。兄貴と一緒に。…おかげで田の下に隈ができたぜ」

「…」

「じゃあ先ずは『大乱闘モード』で」

「ああ、そうそう。自分は使うなよ」

「…え?」

「だつてつまらんだらう。自分を使えば簡単だらう」

「…確かに」

「俺がレフューリーを勤める。じゃあ…マリオスマニーで大乱闘!」

「OK」

「はい」

「はーい」

「我輩もか

前一回戦（後書き）

マリオ
マッシー

ルイージ
フォックス

ピーチ
ゼルダ

クッパ
ガノンドロフ
を使います。
場所は終点です！

中 一回戦（前書き）

追記

ストック

1

ステージ

スマ村

アイテム

は言いました？

食べ物、スマッシュボール、アシストフィギュア。

確率 すくない

以上 かな？

中
一
回戦

— !

[३]

「カオリカバガーナ

「おうち！」

「せえい！」

10

「デインの炎！」
ガチャ連失敗

一
痛！？
」

「 言い忘れていたが、キヤラのダメージは本人に引き継がれる。」

「『最刃』はブー、ジャノアノアノアポン！」

「…こちらの一人は飽きてジャンケンしてる…」

「おお」

「口うるさい」

「作者だ」

「知らねええー！？」

そ二か 知らなしが なには消えぞ

「那好，我再給你一個機會，你再說一次，我再給你一個機會。」

「体が勝手にいいい」

「次回になるかな…」

中 一回戦（後書き）

戦闘不能
ルイージ
クレイジーハンド（？）

※ 一回戦（複数用）

…ひやかされ終りも

「デインの炎！」

151

۱۰۰

「ぬまむた

「卵産み」

おこりて、
たかこんな物
レノガチャで

160

「卵産み」

卷之二

卷之三

「卵巣炎」

「アサヒ」

「マニスがギレた」

「ああああああ

「ピーチが勝利」

一ヶツタケタ...」

卷之三

「ああああああああああ

終　一回戦（後書き）

てな訳で、

優勝

ピーチ

準優勝

マリオ

準準優勝

クッパ

準準準優勝

ルイージ

優勝者と準優勝者からコメント

「私殆ど出番無い…」

「気にならないで下さい」

クッパとルイージ、もう出番無いし（汗）

閑話休題（？） 1

作者「次はちゃんとやれよ」（汗）「

ピーチ「グダグダだつた死ね…」（汗）」

作者「ピーチ。字が違うわ。」

ピーチ「あらわ」

作者「…次から一位の人（その他含む？）をここに入れてみよう」

二位以下「ちょっと待て！」

作者「みや！？」

二位以下「俺達の出番は！？」

作者＆ピーチ「ンな物ないわ。」

マリオ「ピーチ姫、キャラ崩壊…」（汗）

ピーチ「あらあわわ？」

作者「…次に進むか。…次は、リンクファミリー（？）で」

リンク「あ、はい。わかり」

作者「な訳ねーだろターコ！次はマスター・ハンドとクレイジーハンドだよー！この二人（？）の為に特別コントローラ作つといたぜ！」

クレイジーハンド（以下クレハン）「やつと…出られた…。ぐふつ。

マスター・ハンド（以下マスハン）「大丈夫か…？弟よ！」

クレハン「タブー千体とか有り得ねえ…」

作者「は？ 簡単だろ。レベルは『ふつう』だし」

マスハン「…所で、特別コントローラとは？」

作者「よくぞ聞いてくれた！えー、『まず、親指で移動。人差指で弱攻撃。中指で強攻撃。薬指でガード。小指で掴みだ』。解つたか？」

マスハン「敢えてその紙には触れないでおこう…」

作者「じゃあ、やるぞ」

閑話休題（？） 1（後書き）

次回はマスハンドルヘンです。

場所

フラットゾーン2

キヤラ

マスハンドル

カービィ

クレハンドル

ピカチュウ

ルール

ふつどび率

2・0倍

ハンドルヘン

二人共三百%

五分

アイテム

ボム兵

バンパー

ハンマー

おおい

ですかね？

：中々オススメです。w

下手すると50ぐらい死んだりしますよ？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2467k/>

スマッシュ(?)ブラザーズw

2010年11月15日08時43分発行